



さの かずや
佐野 和也
(育成)

**県道158号大坂富士宮線及び市道大塚弓沢線
交差点(通称よろずや交差点)について**

問 市としては危険性をどのように捉えているのか。また、大岩2区と上小泉区から富士宮東小学校と富士宮第一中学校に通学する児童生徒の数と通学路について伺う。

部長 市としては、狹隘にもかかわらず交通量、の多い危険な交差点と認識している。東小に33人が、一中に25人が通学している。よろずや交差点は通学区域内にある。

問 市の考えと今後の計画について伺う。

部長 市の考えと計画としては、県道大坂富士宮線の北側に歩道を設置し、市道大塚弓沢線については、交差点南東の広い水路については蓋つきの側溝に入れ替え、歩行者スペースを確保していく。交差点については、関係地権者から

事業への同意を得ることができたことから、県と市で事業調整を図っていきたい。

これからの敬老会の在り方について

問 敬老会の必要性について。年一回の敬老会も大事だが、高齢者に関する別事業に転換したらどうか。

部長 敬老会は高齢者の長寿を祝い、外出機会の創出や地域コミュニティの再確認などのために、各自治会が内容を考え開催しているもので、令和2年度のアンケート調査ではそういった声はごく一部だったので、市としては自治会において実施の意向がある限り、引き続き必要な事業として敬老会の開催の支援を継続していきたいと考える。また、参加されている方、運営に携わっていただいている役員の方々、個人個人からは様々なご意見があろうということは推察するが、実施主体である自治会の長である区長、区長会の皆様と御相談させていただきながら、今後の在り方については検討していくものと考えている。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(日本共産党議員団)

**近い将来に集中する公共施設の長寿命化・建て
替え工事について**

問 市立病院と清掃センターの建て替え時期とその規模についてどう考えているか。

部長 両施設は長寿命化に向けたメンテナンスに取り組んできて、市民のニーズに応えられており、建て替え時期はかなり先になる。規模として、病院は現在と同規模で費用は200~300億円。清掃センターはごみの削減・資源化により、現在より小規模になると考えている。

問 道路・橋、上下水道などのインフラを含め公共施設全体の更新について、中長期的な財政見通しを示す必要があるのではないか。

部長 予算編成の実務上、その必要性は低い。

問 様々なコスト削減を図るというが、人口減少による税収減、建築費用上昇、設備費用のコ

スト増も考慮した財政計画が必要ではないか。

副市長 これまで市の負担でやっていた道路・橋梁などの修繕について、今は国の交付金や起債が使えるように時代が変わっている。

問 長寿命化と建て替えに関する中長期的な計画について、市民や議会への説明をどう進めていくか。

部長 職員研修や市民ワークショップの様子を市のホームページに掲載している。

意見 総合計画を立てるときは、市民が安心感を持てるよう長期的財政根拠を示してほしい。

有機農業推進のオーガニックビレッジ宣言を

問 有機農産物の生産・販売・加工品開発などに取り組んでいる有機農家を後押しするために、市がオーガニックビレッジ宣言をしたらどうか。

部長 現時点ではハードルは高いが、先進的な他市町の情報収集や関係者との連携などで、当市の実情に合った有機農業産地づくり推進計画の実現に向けて調査研究を進めていきたい。